

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第 42 輯）の発刊にあたり

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧は、本輯で第 42 輯の発刊を迎えることになりました。本誌は昭和 53 年の第 1 輯の発刊以来、医薬系キャンパスに在籍される多くの研究者と関係者の協力の下、医薬学図書館運営委員会の研究活動一覧編集委員会の先生方のご尽力で、発刊の運びとなりました。ここまで途切れることなく、毎年、継続して発刊できたことは有意義なことでありますし、杉谷キャンパスの多くの研究者におけます、これまでの業績を一覧できるものでもあります。“輯”は、一般的には用いられることは少ない漢字ですが、材料などを集めて纏めることを意味しています。ただ、集め・纏めても意義はありません。広く世間にこの纏めを公表することで、杉谷キャンパスにおいて、従事する研究者の研究活動の毎年における絶え間ない努力を積み上げてきた結晶を知らしめる役割も担っているとも思えます。これにより、これまで富山大学杉谷キャンパスで築かれてきた歴史を通して学問がなお一層発展していくためにはなくてはならない資料でもあります。

本誌は杉谷キャンパスにおける各講座や研究室の一年間の活動を、著書、原著、症例報告、総説ならびに学会報告にわけ、判りやすく記載されています。これにより、各講座や研究室における研究の対象と現状も把握できますし、本誌を通して、杉谷キャンパスをはじめとして、内外の研究者や学生が交流するきっかけにもなり、各人がより一層の自己研鑽を積むための役割を果たすことが出来るかと思えます。

医薬学図書館は 2014 年のリニューアルにより、館内も拡張され、多くの図書や雑誌も閲覧でき、電子媒体も数多く揃え、毎年、研究や勉強に活用できるよう充実を図ってきました。近年、電子ジャーナルの高騰により図書館費を圧迫しつつあり、場合によっては閲覧の制限が加わるかもしれない問題に逼迫しています。しかし、研究者にとってこの情報は必須なものでもあります。その点からも医薬学図書館の機能をなお一層充実させるために努力し、より広く利用者に満足される図書館を維持していく努力をしなければなりません。

最後に、第 42 輯の発刊に当たり、ご多忙の中ご尽力頂きました研究活動一覧編集委員会の先生方と医薬学図書館の皆様には厚く御礼申し上げます。また、貴重な業績を提出頂いた、各講座および研究室の関係者にも深謝します。本輯が杉谷キャンパスの皆様にとりまして益々の研究活動の発展に繋がることを祈念する次第です。

富山大学医薬学図書館長 井 村 穰 二

Imura Johji